

院長就任ご挨拶

この度、院長に就任した榊田義英です。

大和高田市立病院は「市民から愛され、信頼される病院を目指します。中和地域の中核病院として、地域住民の要望に的確に応える医療を行うとともに、保健医療福祉の連携に努めます。」という病院理念のもと、中和医療圏を中心に急性期医療を支えてきました。

当院の重要な役割には、「地域住民が最も心配している救急医療の充実」「周産期医療の充実」「小児医療の充実」「専門的ながん医療の充実」があると考えています。

一般救急では、救急診療体制を充実させ、可能な限り救急患者を受け入れる体制を目標にしてきました。昨年は2000件以上の救急搬送を受け入れ、地域において重要な役割を果たしています。今後も体制強化し、ひとりでも多く救えるように努力します。

当院はいつでも患者を受け入れ、開業医の先生が気軽に紹介できる病院として、地域の他の医療機関と緊密に連携することを重視しています。個々の患者に合わせて家族構成や社会的背景なども考慮して、複数の疾患に対して総合的に最適な治療を行うことによって、地域で必要な病院になることを目標にしています。

4月から最新のMRI検査機を新設するため、開業医の先生と共同で治療することも多くなると考えています。昨年より、さらなる地域医療に貢献するために、地域医療支援病院を目指して取り組んできました。まずは開業医であるかかりつけ医と連携し、「二人主治医制」の確立を目指します。皆さんには、通常診療はかかりつけ医で受け、手術や高度な検査など、必要時に紹介状を持って、当院を受診していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

中和医療圏の中核病院として、何より市民の皆さんの病院として、職員一同で取り組みますので、よろしくお願いいたします。

院長 榊田 義英